



# 募集中!

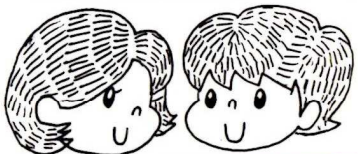
## ① 9/27(土)「ファミリーBBQ」

内容 みんなで簡単やきそばBBQやゲームを楽しくながら遊びましょー

場所 総合運動公園

参加費 2人以上1人につき 会員 500円、非会員 800円

予備日 9/28(日) 10:00~15:00 自由解散



## ② 10/24(金)「みかん狩り」

10:00~自由解散

内容 子どもたちを伸び伸び遊ばせながら、ママたちは秋の自然を満喫しながらおしゃべりしましょーみかん狩り1時間制限なしの食べ放題!

場所 多摩大社近くの観光農園

参加費 未就園児は親子で、会員 1,200円、非会員 1,500円 (お土産つき)  
※ 就園児が一緒の場合は1人につき 300円

## ④ 12/6(土)「プラネタリウムでクリスマス♪」

13:00~14:00

内容 ハンドベルの演奏に合わせたプラネタリウムでクリスマス気分を味わいましょー

場所 長島ふれあい学習館

参加費 親子で 会員 500円、非会員 800円  
※ 子ども1人増えるごとにプラス 200円

※ 申込・お問い合わせは全て下記HPまで! 表紙にQRコードあり

連絡先 070-5330-9870

URL (http://wonderpocket.jimdo.com/)



## ③ 11/18(水)「電車で親子遠足」

10:00~14:00くらいまで

内容 北勢線に乗って中部公園へ行き消防署では消防車に乗ったり消火器体験をあるよ。(^\_^)

行先 中部公園(頼野) 消防署(員分署)

参加費 親子で 会員 200円、非会員 500円

予備日 11/19(水)

## とどろき

Wonder pocket 通信も今号で4回目の発行となりました。ちょうど一年前にNo.1を西布していたのがまたつい最近の事の様。月日の経つのは本当に早いですね。発行が遅くなり、イベントのお知らせ等が間に合わない事もありますので、最新情報はHPにアクセスして下さいね

# のんびり子育てを応援!

特定非営利活動法人くわな子育て支援ネットワーク



久しぶりの発行です。のんびりしていたら遅くなってしまいました。(^^)

NPOなんかをやっていると「忙しい」と思われがちですが、そんなことはなく、敢えて「のんびり」を心がけ、気持ち的に自由な時間をたくさん作るようにしています!

なぜなら...「今の子どもは本当に忙しい世の中で生きている」と年々感じるようになってきたから。

子育て支援を始めて8年。未就園児の入園の時期が年々早くなっています。プレスクールを含めた

習い事などのスタート時期も格段に早くなり、1つではなく、2つ3つと幼児期から忙しい子が増えています。

新一年生に「学校と幼稚園どちらが楽しい?」と聞くと、「学校の方が楽し〜」という子どもも多くなって驚きます。学校や幼稚園から帰ってきたら「ひとりで遊ぶ」という子どもも少ない。放課後を送れる子どもも少なく、習い事や季節によっては通院で忙しい...。自分は空いているも、友達と都合が合わないで遊ばないで、遊ぶ約束も「スケジュール調整」が必要な今の子どもたちです。(笑)

かくいううちの子も同様。なので、敢えて「のんびり」を心がけることにしたので。

「今日はのんびりするよ!」というのは本当ののんびりではなく、それは「のんびりする」というスケジュールを作っただけのこと。また、友達と遊ぶ時間も大切!と「今日は友達と遊ぶ日ね」と決めるのもスケジュールです。

ここでいう「のんびり」は「子ども自身が何をやるか、どうするかを自分で決められる時間を作る」という意味。忙しい毎日でも、自由に好きなことをできる時間が少しあるだけで、子どもらしい活力が湧いてくるんですよ~!

でも子ども自身で選べる状況を作るのは、親に余裕がないと意外と難しい...。だから私たちが親も「気持ち的に自由な時間」を大切にしたいですね。(^^)



# ワンドーポケットの アドラー的子育て

ワンドーポケットの活動は右頁にもあるように大人も子どもも「勇気づけ」されるような場になっています。私にも仲間です！

## 親子で畑づくり

今年度から始めたワンドーポケット畑。自然農法だし、今年は雨も多いから育ちが悪いが止らなくていいや、大々大豊作が化学肥料や農薬を使わない土や野菜って、本当に強い！そして世話いらずでびっくり。最低限のお世話しかして、必要な栄養分や水分はチャートと自分で吸収して育つんですね。これって子育てと似てる！子どもに任せれば本来の力を発揮して逞しく育っていくけど、親が手をかけすぎると自分の足で踏ん張れない子に「うちやうみん」で一緒に作業して、遊んで多くの人が自然からたくさんを感じて、五感で学べる場を目指しています。

## 夏休みイベント

毎年、夏休みには「みんなでお題の寺子屋」「みんなでジャボン玉」「みんなでおえかき」などのイベントもしています。せっかくの夏休み、楽しい思い出を作るのはもちろん、好きなことや得意なことが増えて自信もUPしたら嬉しいです。☆苦学意欲なく「やってみよう！」と思えることや「ボク(私)にもできるんだ」と思えるような企画をして、「ここには仲間がいる！ボク(私)には能力がある！」と思えるような場づくりをしています。夏休みのたった数日間ですが、子どもたちの様子や態度がみるみる素直に前向きに変わるんですよー(心)単なるイベントではなく子どもたちの「勇気づけ」の場を目指して♡

## 親子☆山村留学

- 川遊び
- アマゴつかみ
- 虫採り
- 自然散策
- クレヨンうどん作り
- 菓子まき
- etc...

飯高町の大自然の中、20ファミリー総勢70人強で楽しんで今年のキャンプ。ねらいは「自分で遊びを見つけて」「ヨリの子を見よう！」「みんなで語り合おう！」の3つ。

言われたことはソツソツこなすけど、「自由」と言われると何をしたいかわからない。親が「〇〇する？」「××しな？」と提案して決めるってパターン、よくありますね。でも、ここでは「どこで何をやるか」はその子の自由！すぐに決められる子、じっくり決める子、いろいろですが、それを見守ってもらいました。☆親だと待つのはもどかしくても、ヨリの子だとゆったり見守れる(笑)わが子が相手だと悔がぬいことも、ヨリの子だと温かく見守られたりして。でも、ほんの少しわが子と離れる時間は逆にわが子の良さに気付くきっかけにも♡子どもが帰った後は、それぞれの子育てを分かち合っ、ほっこりした気持ちで一日を終えたい！今度ばファミリーBBQ!!

## キッズリトミック

Blog: <http://ameblo.jp/kids-ryth-kawana/>  
1〜7才の子が学年別に楽しんでいるリトミック。1〜2オククラスの窓際には今年もベビーがずらり。みえちゃんお姉ちゃんに付いてきてくれたベビーちゃんです。兄弟姉がママと楽しんでいる間、「お手伝い先輩ママ」とピアノの音に耳を傾けています。そして歩けるようになったらリトミックデビュー！子育てが少し落ち着いた先輩ママがベビーを見守りに来てくれたり、「みんなでお育て」が、恩送り的にループしていて、みんなの力がたっても心地良いステキな場になっています(♡)

# アドラー心理学に基づく親子関係プログラム「パセージ」

※ 桑名で3回目の開催となった「パセージ」も12名の方が受講されました。

目からウロコ 子どもの優しくなれた 子どもに振り回されなくなった！

子どもの力を信じようと思えるようになった すぐに効果(変化)が出た。このやり方が合ってるみたい！！

もっともっと子どもが女子に「なった」



4回目の開催に向けて、年明けに「子育て講演会」や「お試し講座」を企画予定です。お楽しみに〜！

## アドラー心理学って...?

子ども自身の手で育つ！！

今年ベストセラーとなっている「嫌われる勇気」で「聞いたことある！」という方がグッと増えてきましたが、100年ほどの歴史ある「勇気づけ」の心理学です。今回は「パセージ」の第1章に出てくる子育てで最も大切にしたい2つのことをご紹介しませう。

### みなさん、将来どんな子になってほしいと子育てしていますか？

いろいろあると思いますが、以下の2つに集約されるのではないのでしょうか。

- #### <子育ての行動面の目標>
- ① 自立する。
  - ② 社会と調和し暮らせる。

「自立した子」という声はよく聞きますが、例えば経済的に自立して社会的に成功したとしても、友達がいないかったり、家庭で居場所がなかったら、「社会と調和」していません。いまいち幸せなイメージが浮かんでこないですよね。逆に、例えば家庭内の居心地悪く、嫌々となるならそれも「社会と調和」していません。また「自立」もしにくいですね。やはりこの2つは子育ての目標のすべてを言い表した名言だと私は思います。(笑)

- #### <子育ての心理面の目標>
- ① 私は能力がある。
  - ② 人々は私の仲間だ。

例えば、小さな子が一人でごはんを食べることができたら「能力」がありますね。ママは「できたねー！」と一緒に喜んでくれるでしょうから、きっと「ママは仲間だ」と感じますね。では、1人では食べられず、「食べさせて」と言ったとしたら？ この場合も「してほしいことを自分の言葉でハッキリ伝える能力」があると思いませんか？そして、食べさせてもらったとしても完食できたら、「残さず食べる能力」もありますね。好き嫌いなく楽しく食べられる「勇気」、それも能力。子供に決めることができる「能力」があると言えます。どんな行動に対しても、そんな風にプラスの感情を持って関心を示すことができれば、子どもは「仲間だ」と感じるでしょうね。そんなの甘い！と思う人もいるかもしれませんが、比喩的にいっていいとしてもこの2点が達成できれば「自立して社会と調和」できる子に育つのです。